

覚せい剤よりも大切なもの

私は、今回初めて覚せい剤の事件で逮捕されました。

10代の頃、私は両親に反抗ばかりし、ほとんど家には帰らず夜通し、出歩いていました。当時、私の周りには、不良と呼ばれるような人が多く、警察に補導されることが何度もありました。当時付き合っていた彼氏が覚せい剤を打っており、私も覚せい剤に興味を持ちました。私は、その彼氏に頼んで覚せい剤を打ってもらったのがきっかけで覚せい剤を使うようになりました。覚せい剤を打つと気分が一気に高揚し、夜通し、寝ずに遊び回っても疲れることはありませんでした。最初は、彼氏と一緒に覚せい剤を打っていましたが、いつしか、自分でも覚せい剤を買って打つようになりました。

このまま覚せい剤を打ち続けたら体がボロボロになって廃人になってしまうという恐怖心もありましたが、覚せい剤を打たないと体がダルく何もできなくなり、覚せい剤なしでは普通の生活ができなくなっていました。

私には、連れ子がおり彼氏もいます。彼氏とは、結婚も考えており、3人で暮らしています。私は生活保護を受けており、自由に使うことのできるお金はほとんどありませんので、彼氏に悪いと思いつつも、覚せい剤欲しさに自分の体を売ってお金を作っていました。

そんな生活を続けていたところ逮捕されました。

逮捕された数日間は、覚せい剤の効果が切れて、体が重く、ぐったりしていてイライラしていたので、取調官の方に罵声を浴びせていました。しかし、取調官の方は、そんな私に対して、怒ったりせず親身になって私の話を聞いてくれました。また、家族や友人も面会に来てくれました。今回逮捕され、家族や友人の暖かさを知りました。

また、私が逮捕されても、私と結婚したいと言ってくれた彼氏の言葉で、私は、本気で覚せい剤を止めようと思いました。これからの人生は、こんな私を見捨てずにいてくれた家族、友人、彼氏、そして、何よりも子供に償って生きて行こうと決心しました。

(20歳代 女性)